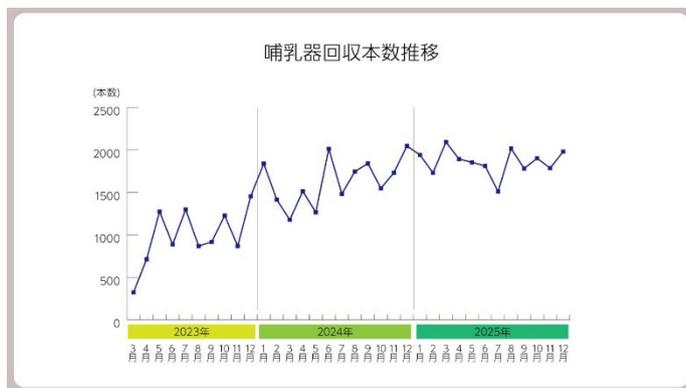


ママ・パパの思い出がたくさんつまった哺乳器^{※1}を次の世代につなぐ
ピジョン×赤ちゃん本舗で回収した哺乳器が累計本数 5 万本を突破
～持続可能な社会へ向けた哺乳器回収リサイクルの取り組み～

ピジョン株式会社（本社：東京、社長：矢野 亮）と株式会社赤ちゃん本舗（本社：大阪市中央区）が全国のアカチャンホンポにて共同実施する「哺乳器回収リサイクル」は、2023年3月から開始し、この度累計回収本数が5万本^{※2}を突破したことをお知らせいたします。

本活動では、資源の循環利用を目的とした哺乳器の回収活動に加え、2025年には育児のつながりとりサイクルへの意識を高める啓発活動「哺乳びんリサイクルでつなぐ育児のバトン」も実施し、多くの方にご参加いただいています。



2023年3月よりトライアル期間^{※3}を経て全国のアカチャンホンポではじめた、ご家庭で使わなくなった当社製哺乳器を回収する本活動ですが、これまでに多くのお客さまにご協力いただき、この度累計回収本数が5万本^{※2}を突破いたしました。

3年前から本格的にはじめた本活動は、開始当初から多くのご家族に反響をいただいています。現在では、全国で1カ月に約2,000本の哺乳器が回収されており、その回収本数は年々増加しています。

回収にご協力いただいたご家族の中には、お子さまが何年も前に使わなくなった哺乳器を大切に保管されていた方も多く、当時の子育ての思い出を振り返りながら回収BOXへお持ちいただく姿が数多く見受けられました。

資源回収のみならず、お客さま一人ひとりの子育ての思い出も一緒にお預かりできる取り組みとして、これからも多くの方にご協力いただけるようにこの活動を推進してまいります。

当社は、明日生まれる赤ちゃんの未来にも豊かな地球を残すため、循環型社会の実現を目指し、哺乳器の回収と資源リサイクル（検証）を進めてまいります。

※1 哺乳器：哺乳器（容器）+乳首+フード・キャップで構成された1つの製品
※2 ボトル本数のみ（パーツ・乳首は除く）期間：2023年3月17日～2025年12月31日
※3 2022年8月～関東エリアのアカチャンホンポ10店舗での実証実験

■啓発活動「哺乳びんリサイクルでつなぐ育児のバトン」の取り組み紹介



哺乳器からリサイクルされたマタニティマーク



ワークショップでお好みのデザインを選んでいる様子

「哺乳びんリサイクルでつなぐ育児のバトン」は、赤ちゃんが使っていた哺乳器がマタニティマークへと形を変え、これから生まれてくる赤ちゃんご家族にバトンとして引き継がれていくことで、育児のつながりとリサイクルへの意識を高める啓発活動として2025年6月より開催しています。

本イベントでは、使用後の哺乳器に関するご家族の悩みとリサイクル課題が説明される他、実際に哺乳器を使用していたご家族へ「卒乳証書」の授与や、プレママへ回収した哺乳器パーツの一部を原料に使ったマタニティマークの贈呈が行われます。その後のワークショップではオリジナルのマタニティマーク作りを、ご来場のプレママ・プレパパに体験していただいています。



参加者にクイズも交えながら取り組みを説明



マタニティマークワークショップの様子

【活動実績】

2025年6月には、アカチャンホンポ プライムツリー赤池店(愛知県)とアカチャンホンポ グランツリー武蔵小杉店(神奈川県)で単日イベントを実施、10月には外部会場インテックス大阪(大阪府)で「マタニティ&ベビーフェスタ大阪2025」に2日間実施し、多くの来場者に哺乳器リサイクルの取り組みを啓発し、4日間で合計649名の方にイベントに参加いただいています。

参加者からは「他にはない珍しい柄で、組み合わせを選ぶのが楽しかった」、「先輩ママ、赤ちゃんが使ってきた特別な思いが詰まったマタニティマークなので、自分も大事にしたいと思いました」といった喜びの声が聞けました。

また、「SNSでこのかわいい柄のマタニティマークがあるのを知っていたので、今回のイベントに参加できてよかったです」といったイベントを心待ちにされていた声もあり、この哺乳器リサイクルの取り組みに対する期待を実感できる場となっています。

■「哺乳器回収リサイクル」の概要

日本国内のシェア約8割※4誇る当社の哺乳器は、プラスチック製と耐熱ガラス製の2種類があります。プラスチック製の哺乳びんにおいては、プラスチックを細かく素材別に分別し回収する仕組みが普及していない等の理由により、リサイクルが進んでいないのが現状でした。

この背景を踏まえ当社では、赤ちゃん本舗と協働し、使用済み哺乳器の製品回収と資源リサイクルに取り組んでまいりました。2022年8月関東エリアのアカチャンホンポ10店舗にて始まった本活動は賛同の輪を広げ、2023年3月からは全国のアカチャンホンポに拡大し、2026年現在、全国のアカチャンホンポ130店舗※5に回収ボックスを設置するに至っています。



■「哺乳器回収リサイクル」のリサイクルフロー



哺乳器を使い終わったご家庭に協力いただき、全国のアカチャンホンポに設置された回収ボックスにて、ピジョン製の哺乳器を回収します。その後ピジョンにより、哺乳器を素材ごとに分別。分別された各パーツはリサイクラーを通じて、粉碎～再生原料化され、プラスチックはプランター、パレット、食品・薬品工場ラインの配管などに、ガラスは路盤材などを製造するための原料の一部に生まれ変わり、社会へと還元されます。また、ガラス哺乳びんは一部ガラス哺乳びんの原材料としてリサイクルされています。

- ※1 哺乳器：哺乳器（容器）＋乳首＋フード・キャップで構成された1つの製品
- ※2 ボトル本数のみ（パーツ・乳首は除く）期間：2023年3月17日～2025年12月31日
- ※3 2022年8月～関東エリアのアカチャンホンポ10店舗での実証実験
- ※4 ピジョン調べ（2026年インテージ POS 全国ベビーショップ・ドラッグストア合算拡大推計値による）
- ※5 赤ちゃん本舗調べ(2026年1月末時点)

【ご参考】

■ピジョンのサステナビリティについて

私たちは、赤ちゃんをいつも真に見つめ続け、この世界をもっと赤ちゃんにやさしい場所にするために存在します。私たちは、赤ちゃんにやさしい未来をつくるため、事業活動を行うすべての国・地域において環境負荷を減らし、赤ちゃんとご家族を取り巻く社会課題の解決をすること、新しいビジネスにも挑戦することで社会になくてはならない存在として持続的な成長を目指します。

URL : <https://www.pigeon.co.jp/sustainability/>

■環境ビジョン「Pigeon Green Action Plan」について

明日生まれる赤ちゃんの未来にも豊かな地球を残すため「Pigeon Green Action Plan」を2023年2月14日に発表いたしました。「Pigeon Green Action Plan」では、ピジョングループが事業活動を行ううえで特に関連性が高い気候変動問題、プラスチック問題、生物多様性毀損の解決にフォーカスし、「脱炭素社会」、「循環型社会」そして「自然共生社会」の実現を目指した中長期的な目標を設定することで、環境負荷軽減に取り組みます。

URL : https://www.pigeon.co.jp/sustainability/environment_top/pigeon_green_action_plan/

■関連する SDGs



pigeon

ピジョンブランドは、育児用品をはじめ、マタニティ用品・保育サービスなどを手掛けるブランドです。60年以上に亘る研究に基づき、製品やサービスを提供することによって、この世界をもっと赤ちゃんにやさしい場所にしたいと考えています。そして、赤ちゃんが生まれながらに持つ素晴らしい力を育み、すべての赤ちゃんがありのままに輝ける世界の創造を目指していきます。

赤ちゃんにやさしい未来に向けた世界中に広がる私たちの取り組みを下記でご紹介しています。

<https://www.pigeon.co.jp/vision-of-a-baby-friendly-future/>